

信州大学医学部医学科全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）の学生の皆さんへ

令和7年度（2025年度）

「長野県医学生修学資金」貸与のご案内

長野県では、将来、医師として長野県内の公立・公的病院等に従事する意欲のある方に長野県医学生修学資金を貸与しています。

制度の内容

※ 令和7年度（2025年度）の内容は、県の予算編成を経て、令和6年度（2024年度）末までに確定します。

◆ 対象となる方

信州大学医学部医学科全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）で入学した方（必須）

◆ 貸与予定人数

22名（全国募集地域枠（長野県医学生修学資金制度あり）分）

◆ 貸与金額

月額 20 万円

（6年間貸与した場合は、総額 1,440 万円）

※ 貸与決定者本人の希望の口座に、
四半期毎に 60 万円を振り込みます。



◆ 貸与期間

貸与決定年度の4月から、大学卒業年度の3月まで貸与します。ただし、休学・停学・留年期間中は貸与されません。

◆ 返還免除

県が指定する医療機関における業務に従事した期間が、貸与期間の1.5倍に相当する期間（義務年限）に達したときに、修学資金の返還を免除します。

例えば、6年間貸与を受けた場合は、県の指定する医療機関における業務に9年間（6年間×1.5）従事すると返還が全額免除されます。

なお、県が指定（承認）する医療機関での初期臨床研修・専門研修は、義務年限に含まれます。

◆ 他の奨学金との併用

大学卒業後は、長野県の指定する医療機関に勤務していただくことから、勤務・研修について条件を付された他の自治体等の奨学金と併用して貸与を受けることはできません。なお、独立行政法人日本学生支援機構で貸与している奨学金はこのような条件が付されていないので併用することができます。

◆ キャリア形成卒前支援プランの適用

- ・長野県医学生修学資金の貸与を受けた方は、在学期間中「長野県医学生修学資金貸与者 卒前支援プラン」が適用されます。
- ・年に数回研修会等を開催しますので、少なくとも年に1回は参加していただきます。また、新規貸与者全員に必ず参加していただく研修会もあります。
- ・貸与者全員を対象に年1回の個別面談を実施しております。

長野県医学生修学資金貸与者 卒前支援プラン

※大学1年生から貸与を受けた場合

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
修学資金貸与決定	①スタートアップセミナー	②地域医療の現場研修会	③各種研修会等への参加	④各種研修会等への参加	⑤各種研修会等への参加	⑥各種研修会等への参加
				※県内臨床研修病院合同説明会	⑦各種研修会等への参加	⑧各種研修会等への参加
					※県内臨床研修病院合同説明会	
						医師国家試験
						⑨県と医師国家試験合格者の懇談会

在学中の6年間、修学資金を貸与

③～⑧の各種研修会等

信州医師確保総合支援センターが毎年度企画する下記の研修会等を指す。

【主要研修等】夏季交流会(8月)、秋季研修会(10月)、春季研修会(3月) ※少なくとも1つに参加

【その他研修会等】女性医師キャリア形成支援イベント、多職種協働研修会、ブラッシュアップセミナー等

※研修等の詳細については、毎年度、対象者に通知

他に、年1回、信州医師確保総合支援センター専任医師(担当者)と面談を実施

申込方法

◆ 申込方法

合格者には、県から、下記書類を提出いただくよう別途依頼します。

- (1) 貸与申請書
 - (2) 申請理由書
 - (3) 学業成績証明書
 - (4) 健康診断書
 - (5) 父母(又は保護者)の所得を証明する書類(令和6年の源泉徴収票の写し、確定申告書(控)の写しまたは令和5年の市町村発行所得証明書のいずれか1つ)
 - (6) 連帯保証人の印鑑登録証明書(申請書に押印したもの)
 - (7) 連帯保証人((5)以外の者を連帯保証人にする場合)の所得を証明する書類(令和6年の源泉徴収票の写し、確定申告書(控)の写しまたは令和5年の市町村発行所得証明書のいずれか1つ)
 - (8) 調査票
- (注意)

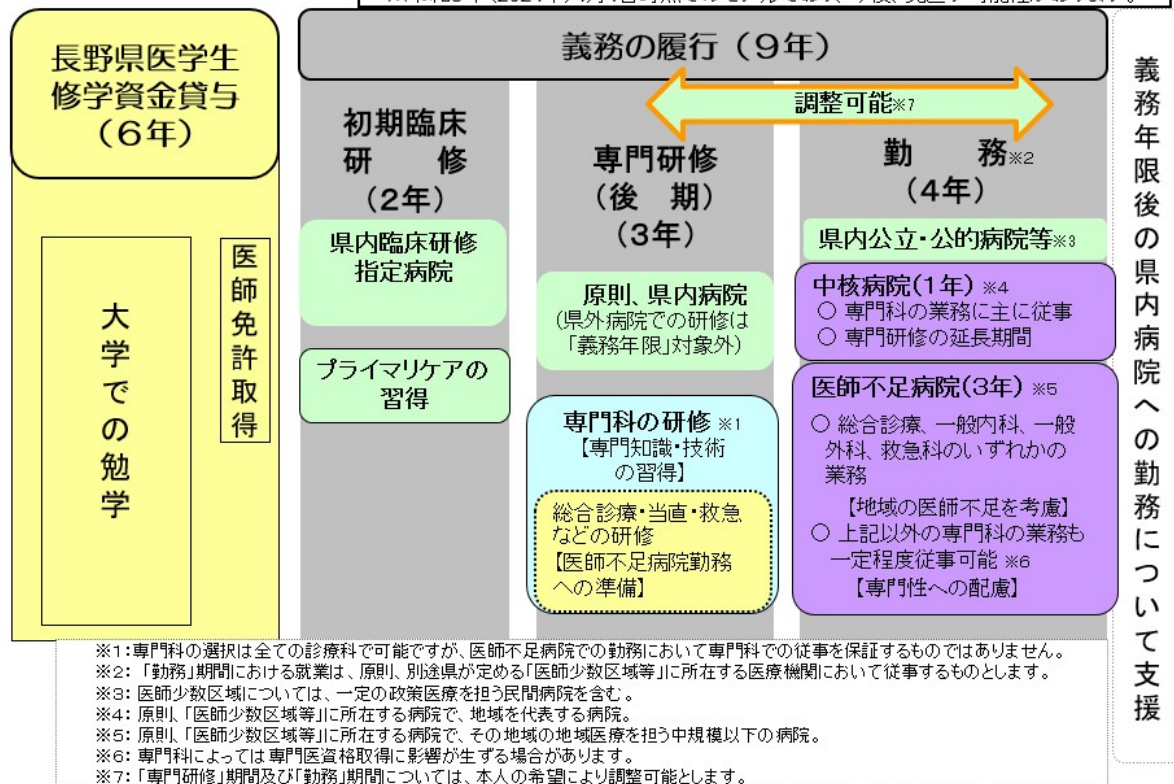
連帯保証人には、独立の生計を営み、修学資金の返還及び 利息の支払いの責任を負うことができる資力を有する者(2名)が必要です。



キャリア形成プログラム①

〔大学在学時の6年間、医学生修学資金の貸与を受けた場合〕

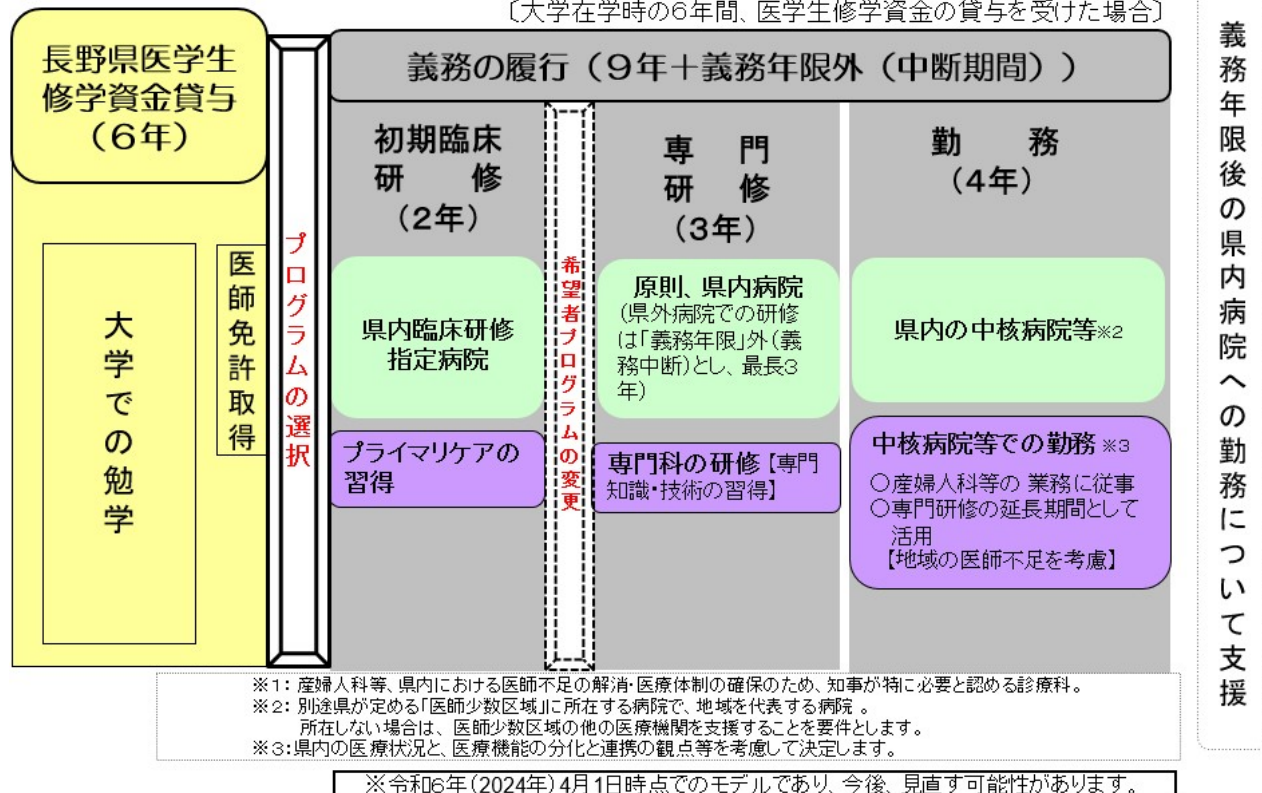
※令和6年(2024年)4月1日時点でのモデルであり、今後、見直す可能性があります。



キャリア形成プログラム②

(産婦人科等、知事が特に認める診療科)※1

〔大学在学時の6年間、医学生修学資金の貸与を受けた場合〕



※令和6年(2024年)4月1日時点でのモデルであり、今後、見直す可能性があります。

◆ 大学卒業後の勤務先

◇ 基本的な考え方

- ・長野県内で従事していただく医師の皆さんを増やし、医師が不足している地域の解消を目的とします。
- ・「総合医」や「専門医」の養成に配慮するよう努めます。
- ・医師としてのキャリア形成の支援に努めます。



◇ 初期臨床研修

- ・長野県内の臨床研修指定病院とし、期間は2年で、返還免除期間（義務年限）内とします。
- ・本人の希望により、医師臨床研修マッチングの手続きで決定された臨床研修指定病院を指定します。

【県内の臨床研修指定病院】

佐久市立国保浅間総合病院、佐久総合病院・佐久医療センター、浅間南麓こもろ医療センター、信州上田医療センター、諏訪中央病院、諏訪赤十字病院、岡谷市民病院、伊那中央病院、昭和伊南総合病院、飯田市立病院、まつもと医療センター、松本市立病院、安曇野赤十字病院、相澤病院、信州大学医学部附属病院、松本協立病院、丸の内病院、北アルプス医療センターあづみ病院、市立大町総合病院、県立信州医療センター、長野市民病院、長野赤十字病院、長野中央病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、長野松代総合病院、北信総合病院

◇ 専門（後期）研修

- ・長野県内の医療機関において3年を限度とし、義務年限内とします。
- ・本人の希望を尊重しますが、将来、医師不足の医療機関に勤務することを考慮し、幅広い診療ができる能力の習得に配慮します。

◇ 勤務（初期臨床研修・専門研修後の従事）

- ・勤務先は、地方独立行政法人長野県立病院機構、市町村、地方自治法第284条第1項に規定する地方公共団体の組合、地方独立行政法人長野市民病院、日本赤十字社、長野県厚生農業協同組合連合会及び国立病院機構が設置した病院等とします。
- ・個々の勤務先については、本人の希望及び地域における医療の現状を踏まえ、指定します。なお、貸与者全員の方が医師不足病院に勤務していただく予定ですので、希望どおり指定されない場合があります。
- ・勤務先における業務は、原則、総合診療、一般内科、一般外科、救急とします。これ以外については、地域の医療ニーズ、指定勤務先の医師の状況、第3期「信州保健医療総合計画」（第8次長野県保健医療計画）の進捗状況などを考慮して、一定程度従事していただきます。なお、医師不足が特に著しい診療科（産婦人科）については弾力的に運用します。このことから、診療科によっては、早期の専門医取得に影響が生ずる場合があります。

◇ 義務年限の中断について

- ・出産等による義務年限の中断は可能です。
- ・「産前産後休暇」及び「療養休暇」の一部（90日まで）は、義務年限に含みます。
- ・「育児休業」「介護休暇」等は、義務年限に含みませんので、その期間は義務年限が延長になります。

【勤務先として指定される主な医療機関】

★国公立医療機関

(県立病院)

こころの医療センター駒ヶ根、阿南病院、木曽病院、こども病院、信州医療センター、総合リハビリテーションセンター

(国立・市町村立・一部事務組合立病院等)

佐久市立国保浅間総合病院、佐久穂町立千曲病院、軽井沢町立軽井沢病院、小諸高原病院、信州上田医療センター、東御市民病院、国保依田窪病院、岡谷市民病院、諏訪中央病院、伊那中央病院、昭和伊南総合病院、町立辰野病院、飯田市立病院、松本市立病院、まつもと医療センター、市立大町総合病院、長野市民病院、東長野病院、信越病院、飯綱病院、ほか診療所など

★公的医療機関

(長野県厚生農業協同組合連合会（JA長野厚生連））

佐久総合病院・佐久医療センター、浅間南麓こもろ医療センター、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター、富士見高原医療福祉センター富士見高原病院、下伊那厚生病院、北アルプス医療センターあづみ病院、長野松代総合病院、北信総合病院、南長野医療センター新町病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院 ほか分院など

(日本赤十字社)

川西赤十字病院、諏訪赤十字病院、下伊那赤十字病院、安曇野赤十字病院、長野赤十字病院、飯山赤十字病院

◆ お問い合わせ先

〒380-8570

長野県長野市大字南長野字幅下 692-2

長野県 健康福祉部 医師・看護人材確保対策課 医学生修学資金担当あて

電 話： 026-235-7144（直通）ファクシミリ： 026-235-7377

E-mail： shugaku@pref.nagano.lg.jp